

横浜市立平安小学校



平安

令和4年1月7日

学校だより

1月号

あったかハートで Hey!安心!!

新しい年を迎えて

学校長 久城 博之

あけましておめでとうございます。冬休み明け前日には雪に見舞われましたが、天候に恵まれ、穏やかな新年を迎えることができました。しかし、これからが寒さも本番となります。今日も寒い朝でしたが、元気な子どもたちとともに爽やかに後期の後半を迎えることができました。

旧年中は保護者、地域の皆様、関係諸機関の皆様方には様々なご支援ご協力をいただきまして本当にありがとうございました。今年は、本校は創立70周年を迎えます。式典行事等を計画していますが、皆様にもご協力をいただくことが多々あるかと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、皆様は、お正月をどのようにお過ごしになりましたでしょうか。私の子どもの頃のお正月は、外で、「たこ揚げ」「はねつき」「こま回し」、屋内では、「すごろく」「カルタ」「百人一首」などで遊んだ記憶があります。ボードゲームの「バンカース」や「人生ゲーム」にも興じました。特に、「たこあげ」は、毎年のように正月になると、近所の駄菓子屋さんにて、たこ糸を買い求め、原っぱに出かけて友達と共に、だれが一番高く上がるかを競い合いました。親からもらったお年玉のほとんどをたこに費やし、かなり怒られもしましたが、それでも夢中になってあげていました。「たこが高くあがるほど、願い事が神様に届くので願いが叶う」という、言い伝えを知ったのは大人になってからですが、今の子どもたちにも広い場所があれば、ぜひ経験させてあげたいとも思っています。また、「こま回し」は、より長く回す術を考えて張り合いました。まさしく、「お正月」の歌のままの冬休みでした。

昔の子どもたちは、それぞれの季節を体で感じながら、遊びとはいえ真剣に技術を磨き、年齢の上下も関係なく夢中になって競い合いました。その中で、学ぶこともたくさんありました。特に、お正月の遊びは、人との関わりや家族の絆を深めることができるところに、それぞれのよさがあったようにも思います。機会があれば、感染対策には留意した上で、遊びを楽しみながら体験して、友達との遊び方を広げて行ってほしいと思っています。

ところで、一旦は収まっていくと思われた新型コロナウイルスですが、変異ウイルスが出てきたこともあり、再び感染者数も少しずつ増えているようです。今後の教育活動や学校行事も変更しなくてはならないこともあるかもしれません。その時にはメール配信やプリント等でお知らせさせていただきます。どうぞご理解とご協力をお願いいたします。